令和６年度 第１回 厚木高等学校運営協議会　議事録

日　時　　令和６年６月 28 日（金）　14：30～16：30
場　所　　厚木高等学校　会議室

０　授業見学

・３年生から１年生へ、昨年１年間に取り組んだ課題研究の英語による発表（教室で実施）や２年生の通常授業の見学。

１　開会、校長あいさつ

・コミュニティ・スクールについてパンフレットに基づき説明。昨年度作成した４年間の目標に基づき、今年度はSSHⅢ期の計画作成にご協力いただきたい。

２　委員委嘱・紹介

・委嘱状の交付。校長より紹介。

３　協議

（１） 授業見学（主に研究発表）について

（委員）１年生がその場で英語で質問しているのはレベルが高い。
（委員）質問者が事前に決まっていないのならレベルが高い。→　決まっていない。
（委員）この取組はいつから行っているのか。→　10 年前から。
この時期に３年生から１年生へ、数値で示す研究を見せるのは良いこと。
（委員）教室でクラス全体へプロジェクターを使って発表するなら、ポスターを投影するのではなくパワーポイントの方がよかったのではないか。
（委員）英語で発表する目的は何か。その目的が指導者に共有されているとよい。

（２）令和６年度の学校目標について

→　案のとおり承認

（３）令和６年度の学校運営協議会について

（校長）今年の大きな課題はSSHⅢ期申請である。SSH の取組と学校運営協議会の取組をつなげることで２つの部会の活性化にもつながる。SSH 運営指導委員にもメンバーに入っていただき目線を合わせていきたい。
（委員）部会はこの分け方でよい。自分たちが何をしたらよいかが明確となってよい。
（委員）部会を分けることで、より深い議論になる。
（委員）今、地域でこんな活動をしているということを、一緒に参加し活動してわかってほしい。できるところからスタートしたい。
（委員）（８月末に厚木高校の生徒が厚木中学校の生徒に、SSH の取組や課題研究について説明、発表を行う企画があるが、例えばこのような取組から）SSH である厚木高校生徒の活動によって、中学校の「探究の時間」を変えていくことができたら、それは成果になるのではないか。そして、地域の生徒が厚木高校に多く入学することで、地域の課題に向かうことができるようになるのではないか。

４　閉会

出席者名簿

【学校運営協議会委員】

栗原　靖之	横浜国立大学　教授
石田　裕昭	神奈川工科大学　理事
佐藤　弘幸	厚木市立厚木中学校　校長
松本　　茂	厚木高等学校同窓会　副会長
新倉　啓一	戸室５丁目南自治会　会長
安達　浩志	厚木高等学校ＰＴＡ　会長
大沢　利郎	厚木高等学校　校長

【事務局・校内担当職員】

小林　恵里子	副校長
石塚　悟史	教頭（欠席）
有働　隆	事務長
白石　勉	総括教諭（学習推進グループ　リーダー）
真壁　宗太郎	総括教諭（グローバル教育推進グループ　リーダー）
冨田　雅也	総括教諭（進路支援グループ　リーダー）
熊倉　周平	総括教諭（生徒支援グループ　リーダー）
諸星　輝一	総括教諭（生徒会グループ　リーダー）
長濱　洋	総括教諭（広報情報グループ　リーダー）